

83	建設局	暑さ対策としての道路舗装	
事業概要	道路の暑さ対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。 さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成 19 年度に試験施工し、平成 20 年度から本格実施している。		
これまでの経過	【 遮熱性舗装 】 ・ 夏場に一般の舗装と比較して 8℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成 19 年度共同実験〔新大橋通りでの試験舗装〕による調査結果）。 ・ 令和 5 年度は、音羽池袋線（文京区音羽一丁目）など、延長約 9 kmを実施した。 ・ 令和 5 年度までの施工実績は、延長約 168 kmである。 【 保水性舗装 】 ・ 真夏の降雨後に一般の舗装と比較して 10℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成 14 年度調査結果）。 ・ 令和 5 年度は、自由通り（目黒区中根一丁目～自由が丘一丁目）など、延長約 1 kmを実施した。 ・ 令和 5 年度までの施工実績は、延長約 22 kmである。		
現在の進行状況	現在の進行状況 【 遮熱性舗装 】 ・ 令和 6 年度は、靖国通り（千代田区九段北四丁目～九段南四丁目）など 25 箇所で、延長約 9 kmを実施する。 【 保水性舗装 】 ・ 令和 6 年度は、内堀通り（千代田区三番町一丁目～九段南二丁目）など 3 箇所で、延長約 1 kmを実施する。		
今後の見通し	今後も、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、遮熱性舗装などを積極的に実施していく。		
問合せ先		建設局 道路管理部 保全課	電話 03-5320-5296